［第三種郵便物認可］　昭和十一年四月一日　磐城新聞［水曜日］　第四千五百八十七號　［一］

平町の公會堂と音響

テイ・テイ生

一

日本では、音響といふ問題に就て全然無關心な、會堂の建築設計が非常に多く見受けられる。私達が地方へ講演に出掛ける度にいつもこれに惱まされるといふ狀態である、講堂が如何に外觀其他に莊嚴優美の限りを盡して居ても、この點を顧慮されなければ全く一の廢墟に過ぎない

建築音響學の問題は、多く音源が發音を止めても尚ほ殘響の統制の問題等の如く、國米に於ては非常に重要なものとされてゐる、自ら混凝土建築物や防火建築物が增加しつゝあるために、音響學に關する研究として認められるやうになつたのである

從來多くの設計者は、物理學者の研究結果を理解し應用する事を知らなかつた兩者は現在より以上に相提携して、滿足なる會堂を設計する事に努力しなければならぬ

會堂に於て遺憾する最重要なる缺點は反響である、小さな室では音響よりの直接音と射音とが殆ど同時に聽者の耳に入るから却つて音を强めた事になるか、大なる室では音源と壁との距離が大てゐるから、直接音と反射音とが離離し、且つ反射音とが離離し、且つ反射の反響さえかゝるから、聽衆が或る瞬時に聽く處の音響に演說者の發した一語でなく事實は連續した語音となるのである。これは必然的に聽衆を困惑錯亂させる事になる

この困難の除却方法を講ずるに當つては、先づその依つて來る處を究めなければならぬ

私達が、一つの閉ぢられた室で、一定の速さで音を發し始めると、最近の表面から先づ反射が起り、次に最遠の表面より反射が來るまでには或る時間を要するのであつて、勿論室が大なるほどその時間は長くなるのである

句帳から

眠　童

蒼天に連らなる海や麥を踏む
發動機船出でゆく音や日向ぼこ
かすかなる命に醉ひて蠅小春
掃きよせしまゝの椿や峯の寺
境内の早き日暮や春寒し

贈石川政十君

珠雲　小野務平

除虧又手夜ゝ年
奇鵬及身千感率
泳潔心惰人書記
長然白日見青天

△聖德太子飛鳥安居院に丈六の佛像を安置（推古帝一二）△親鸞上人生る（承安三）△輕井澤―横川間に我國最初のアプト式鐵道成る（明治二六）△午一丁目の矢場から怪火（昭和一〇）

講談　黃金魔刀

高桑義生作

(112)　樋口悅也畫

卷の狼（一）

首くゝる繩きれもなし年の暮――押し詰つた江戸の巷、人間どもは、眼の色變へて走りまはる。歲末といふ難關を切抜けるため、命がけの奔走だつた。淺ましいが、これこそ人生の縮圖に違ひない

七つさがり、曇り空、今にももち〳〵と白いものを

その側に、八つばかりの男の子が、手ばなしでわあ〳〵泣いてゐる

土の上に白い饅頭が散亂してゐる

『何だ、何だ？　一體どうしたといふんだ』

『あの子供は、奴の倅か』

『ありや饅頭屋のおやぢだな。なるほど子供が饅頭を盜んだんで、おやぢ、かん〳〵に怒つて、かけ合つてゐるといふわけだ。やつぱり節季師走だな。可哀さうに、餓鬼あ腹がへつてるんだ』

『さうぢやねえよ。あべこべなんだ。あの子供が饅頭を買つて歸るところを、乞食おやぢが飛び出して、よ

凶作地吟

菊地生

○幼兒（おさな）に留守居をさせて今日もまたバラスを採りに出づる夫婦ら

○みのらざる畑を覆ふ白雪のところどころに黍からは立つ

○今日もまた人のなさけ麥袋分けて貰へる貧しき人か

○炭俵あむ手を止めてかき口說く母のたもとに見入る子等はも

○東京の小學生が贈り來し慰問袋にキャラメルもあり

○六人の家族やしなふ父親のどさを卸せし炭俵かも

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町鍛冶町十八
日本商事株式會社　平支部

看護婦及ビ見習看護婦　募集

年齡十八才以下
織田齒科醫院
平南町

安齋外科醫院

平町田町
電四七五番

高久病院

院長　高久忠
平町田町電五一三

吉田眼科醫院

廣告

磐城代表的の土產品

山。靈峰（みたけ）羊羹　里。柿羊羹
海。のり羊羹　各一本金十錢
右美麗三本箱入特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土產品です
小賣御希望の方お申越下さい。
小川鄉驛前
製造發賣元　平屋賣店

御入學近づく！

三月二十三日より
四月一日まで
新入學と御進級の御祝として
通學服一着又はマント一枚
買上の方へ……もれなく
…粗品進呈…

男子部（サージ）二、六〇〇〜小倉服〇、九〇〇
（セル服）二、六〇〇〜防水マント〇、九〇〇
女子部（スカート）〇、五〇〇〜水兵服一、六〇〇
（防水マント）〇、九〇〇
外に…春物洋服、レンコート各種取揃へました。

信用堂洋服店

平町三丁目　電話六一三番

茶道　裏千家
華道　未生流
小原派

格花　盛花、瓶花

教授いたします……。
稽古日は　茶道…月六回一、六日
華道…毎週土曜日
◇出稽古も致します。
才搗小路アヅマ美容院内

比佐宗弘

電話三四五番を御利用下さい。

男女入學生服

景品附賣出し

洋服は高島屋

注文並に既製品

高島屋洋服店

平町二丁目電話三八六番

着荷致しました
呼吸疾患救濟の王……
陸　海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專學校門御用

吸入用酸素
體溫計（メートル グラス）

御用命次第迅速に御屆け致します。
平町古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇五五

移轉御披露

自轉車買ふなら（フタバ）へ行けと言はれ絶大な御引立を蒙りました事を深く感謝致します處店舖は狹隘且つ道路は狹く交通に支障ある爲め其筋より再三注意を受けつゝあり御客樣にも危險と思ひ左記へ移轉致しました就而移轉披露の爲め思ひ切つた安賣を斷行致しますドーゾ倍加の御愛顧と御引立を偏に御願ひ申上ます

フタバ商會

平町新川町郵便局前
谷屋呉服店隣り

鰹節と干やなぎは

千兵戶屋商店

平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番
（鮮魚部）四〇七番

生徒募集

磐城佑賢學舍

電話九三番

○中堅國民は佑賢中等科より
○受驗難關突破は佑賢專修科より
○新學年より學舍長令息
東京帝大法學士大和田忠良氏就任

希望に燃よ!!
佑賢は待てり!!!

迷はず一路佑賢へ！

日華生命保險株式會社代理店

外務社員募集

（委細面談）

眼科開業

三月二十七日ヨリ眼科一般ノ診療ニ從事スルコトニ成リマシタ。
四倉町郵便局向
西山眼科醫院

淺春へ逆轉の形だが 併し直ぐに暖くなる

小名濱測候所 太鼓判を捺す

一昨日頃には風駘蕩、日射しも燦々と金粉の降る様に、四時のプリマ・ドンナ春は完全に訪れたかたちであつたが遽然として昨日來の寒さ、けふは早朝來時ならぬ六花が飛んで淺春逆轉、炬燵復活、之れでは未だ〳〵冬仕度も撤回されまい模様であるが、小名濱測候所では寒波の再襲來に就て

寒波再襲

之は日本海方面に不連續線が現れ時雨模様となつた爲で、あす（一日）頃は風も南西に變るし程無く再び温くなる筈である——と寒さの永續きせぬ事を請け合つた、矢張り世は紛ふ方なく卯月に入るのである

滿洲事變に輝く 郡出身の英靈二柱

靖國神社に合祀さる

昨年二月から同年十二月迄の間に滿洲事變に於て名譽の戰死を遂げ、又は戰傷病歿した將兵の英靈は來月二十六日より三日間臨時祭を行ひ靖國神社に合祀されるが、うち本郡出身者及その遺族左の如し

△航空兵上等兵小野正夫（泉村本谷堀の内父小野樵彌）△歩兵伍長大平正二（草野村下神谷馬場塚父大平六之助）

作付の多い本郡へ 更に陸稻普遍化

縣が改善奬勵策樹立

縣下における畑作物は八萬八千餘町歩で、水田面の九割に近く、縣下農業上頗る重要なる地位にあるが、今後における耕地擴張は水田に多くを望まれないので將來畑作地の擴張のみが唯一の殘された更生策であり、縣としては各種作物の改善奬勵を行ふ一方陸稻の作付奬勵につとめることゝなつた、前年度の陸稻作付反別は九百餘町歩で大正十一年以降五ヶ年平均作付高一千二百三十餘町歩に比すれば減少して居り、その中作付の最も多いのは石城郡及西白河、岩瀬、石川、双葉、相馬の各郡がこれにつぎ主として開墾地並に山間に偏した水田面積の少い地方で栽培されてゐるが、なほ本縣の畑地總面積に比すれば極めて少いので今後はつとめて栽培を勸めて經濟性のある陸稻の普遍化を圖るなほ縣の奬勵品種は田優一號、凱旋糯一號の二種で耐寒、耐病性共に強く品質も

全額八萬圓を起債し 篤志家の寄附で減額

公會堂豫算方針決る

公會堂費起債に關する平町會は昨三十日午後一時半から開き既報の如く最初二萬圓の寄附を見込みながら八萬圓に増額したのは如何！と二、三議員から猛烈な反對意見が出たが縣富澤事務官から

委員會に於ての寄附金見越しは不確實な財源だ、寄附採納を町會で決議して始めて豫算面にくむ事が出來る

との注意により納得、佐々木議員からの

借入金額八萬圓を決議するも其內一部は篤志者の寄附を期待するものなれば起債額は相當減額し得るものと認む

との附帶決議によつて原案を可決、四時散會した

春駒セリ始る

きのふからの中寺市場 ＝最高八十五圓＝

本郡の春駒セリのトップ、澤渡村中寺は昨三十日から行はれた、第一日目だけに未だ優良馬の出場を見ず値も本格的でない

出場三四頭　總取引價額二、〇六九圓　最高八五圓　最低三五圓　平均六二圓

馬匹共進會入賞者

石城産馬畜産組合第二區（澤渡村方部）の馬匹共進會は二十九、三十の兩日中寺市場で行はれた、出陳頭數六十頭、入賞者左の如し

一等—三阪村中三坂佐藤房治　澤渡村上市萱加藤酉之助　二等—三阪村下三坂內藤右京　永戸村渡戸水野藤助　三阪村上三坂大谷安之助　澤渡上市萱加藤彥左エ門　三等—三阪村志賀良助　同大谷卯之助　同佐藤利三郎　永戸齊木久七郎　澤渡村田子詮任　同草野カク　同佐藤甚一　草野惣吾　四等—青木元近外十九名

飼育數三萬五千頭

有望な郡下の養兎業

農村副業として比較的有利な關係から郡下の養兎業は年々擴張され殊に茲二、三年來は陸軍被服廠で盛んに大量購入するので一層增大してゐるが縣當局最近の調査による昭和十年中の飼育戸數は五千五十四戸、この頭數三萬五千三百五十頭で毛皮生産高も三萬千八百十枚に上つてゐると

・・・・・・

招魂祭典打合　平町では來月二日午後二時から十日の招魂祭に關する準備打合會を開く

上である

弓道階級試驗　平武德會主催の弓道階級試驗は昨三十日午前十時から平署弓場で縣佐倉、大平兩範士沼崎錬士審判の下に行はれた受驗者は初段一五名、二段八名、三段六名、尚磐女三年生堂山サダ、野木ヨシ子の兩孃が初段を受けた

平小鐵委員會　平町の平小鐵道に關する委員會は明一日午後一時から町會議事堂に開く

小學教員異動 發表

校長榮進の三氏

縣下小學校教員の定期異動は今三十一日午後一時發表されたが郡下校長級の分左の如し

新任	舊任	
勿來第一	草野	五十嵐新平
草野	豐間	大平喜一郎
豐間	玉川	大塚吉造
玉川	小名濱首席訓導	石井貞藏
山田	赤井第二	大越國治
赤井第二	勿來第二	門馬治
勿來第二	平第一訓導	鈴木康
上三坂	赤井第二首席訓導	川隅英一
永井	中村第一首席訓導	水谷秀雄
退職	勿來第一	折笠鬼子太郎
同	山田	安齋清七
同	上三坂	松本龜次郎
同	永井	兒玉善治

訓導中平第一、第二校關係次の如し

第一	第二	鈴木武雄
同	草野	三森芳重
同	新卒	四家利雄
第二	專攻卒	佐藤惣一
退職	第二	蛭田イサ
同	同	海老原英

・・・・・・

飯田氏再選　平町一丁目區長代理者は飯田近治氏再選

內郷の傷害致死に 執行猶豫の恩典

犯人吉川感激して服罪

當時內郷村宮字代六九居住田村郡大越村生れ前科八犯吉川幸太郎(四八)が泥醉の狩兇器漢を斥けんとして力が剩り相手を撲殺した傷害致死事件は今三十一日午前十時から平支部で中島裁判長係り乃木、香西兩判事陪席氏家檢事關與千葉(官選)辯護士立會の下に第三回公判開廷、求刑三年に對し懲役一年六月、三年間執行猶豫の寛大なる判決を言渡され感激した幸太郎は直ちに上訴權を抛棄服罪した

右判決は、幸太郎の犯行を正當防衛の程度を超えたる行爲と認め情狀に因りその刑を輕減（刑法第三十六條第一項）されたものであると

昭和人絹—縣と紹介所が 解雇職工の斡旋

約二千名の消化に大童

昭和人絹會社の火災により職場を失つた男女工大量の解雇は決定的なので目下縣社會課では平職業紹介所と連絡これが解雇職工の斡旋に奔走中で今三十一日は縣山口主事補と紹介所から神長倉書記が出張就職希望數等の調査を行ひ今後の方針を考究中であるが就職希望者は大体男女工共二千餘名に上るらしくこれに對し目下紹介所にも各方面から大童求人もあるので大丈夫消化出來ると同所で

磐女編入合格者

磐城高女校の轉校編入試驗は昨三十日行はれたが合格編入を許されたもの左の如し

△二年　三瓶キイ子（宮城角田）志賀アイ（同）佐藤キク子（同）西尾ヒウ（東京東調布）佐藤節子（宮城涌谷）三浦都（同）△三年　江尻リュウ（宮城角田）上澤智子（相馬）△四年　小林俊子（神戸親和）山本愛子（安積）

磐中進學者

磐城中學校關係その後の上級進學者左の如し（括弧內は卒業回數）

二高文甲—川島司令（三三、平）同理甲—小林美治（三五、勿來）同理乙—會川正四郎（三四、草野）同—小林三四（三五四倉）福島高商—鈴木康輔（三五、平）横濱商專—作山友三（三四、廣野）美術學校師範科—永山利雄（三五、木戸）東京外語—中山信雄（三四、湯本）同—荒川忠明（三三神谷）東京高師—赤津千町（三三、錦）海軍機關學校—堀越祐喜（三五、小名濱）神戸商船—高萩嘉夫（三四、磐崎）東京齒科醫專—若松英雄（三六、平）横濱高工—鈴木謙司（三六、湯本）岐阜藥專—若松正（三六、小名濱）秋田鑛專鑛山機械科—松崎善次（三六、平）

饑餓に泣く子供三人

無謀な父親の家出

內郷村大字綴字秋山元坑夫大橋富治(三二)は二十八日午前十時半頃子供三人を殘して無斷家出したので殘された子供等が途方に暮れて泣き叫ぶのを附近民の屆け出により知つた平署では目下親戚の富岡町大字小良ヶ濱大橋亥之吉方に引取り方を交渉中

鮫川組合豫算

鮫川堰組合豫算總會は今三十一日午前十時から平國体事務所に開かれた、新豫算歲入經常一九、三四六圓臨時一、三八二圓　歲出經常三、四〇三圓　臨時一七、三二五圓で前年に比し未だ請負額を計上せぬ關係から

歲入臨時二〇七、七二五圓減　經常一二、五一四圓增　差引一九五、二一一圓減　歲出經常三〇六一圓減　臨時一九四、九〇五圓減　計一九五、二一一圓

尚小名濱、玉川地內凶作應急施設土木工事は國庫補助工事は期間內に竣功を見たが非補助工事が竣功の見込みないので十一年度に繰越された

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩も明日も北の風晴後曇

二縣荒しの 手長小僧 捕る

石卷刑務所に收容

去る一月八日夜四倉町滿山平藏方に雇はれ中同僚伊藤健三の郵便貯金通帳（四十圓記入）を窃取した外福島宮城の兩縣を跨にかけて荒し廻つた本籍不明、住所不定無職內藤勝行(三〇)假名—は此程石卷署に檢擧されたが二十七日送局と共に起訴され石卷刑務所に收容された

豐漁續きの 小名濱沖 有望

近く茨城船も廻航

小名濱港沖合百マイル附近海區にはアカヲ、アラ等が漁獲され一日百七十貫から二百貫、金額にして百五十圓から二百圓の豐漁があり現在でも各方面から五トン五人乘內外の小型漁船が出漁して豐漁をつゞけて居る等有望視されてゐるので打續く不漁に全く生活難に陷り救濟等迄叫ばれてゐる茨城縣沿岸の小型發動機漁船は近く同縣商水課の奬めにより有望な前記小名濱沖合に來る事となつた

瞼の姉よ！

親達の離婚から 慕ふミサちゃん

茨城縣那珂郡平磯町字川向永井タマ方寺門クラ(三八)は當時內郷村御厩に居住してゐた坑夫の根本善次郎に嫁ぎ女兒二人を生んだが五、六年前或る事情から離縁、クラは次女ミサ子(一五)善次郎は長女キヨ(一七)を引取り離れ〳〵となつてゐたが最近ミサ子がしきりに姉のキヨに會ひたがつてゐるのでクラは此程平署に善次郎父子の居所を搜して欲しいと恩愛の情切々の手紙を寄せて來たので同署で搜してみたが一昨年十月頃湯本に轉住したきり其後消息を斷つたので係官も氣の毒がつてゐた

酌婦の駈落

三百五十圓を踏む

小名濱町仲町料理業松葉家林ナカ方抱酌婦靜岡縣志太郡小川村生れ伏見マツ(三〇)は二十九日午前五時頃馴染の同町西町漁夫遠藤作造と手を携え前借三百五十圓を踏倒して駈落ち目下平署で搜査中

・・・・・・

佐藤醫師弔慰金　平町では磐城高女正門建設寄附金として十年度に五百圓を計上、尚佐藤第二校齒科醫に對する弔慰金は七十圓を贈る事となつた

本社四倉支局長交代

大谷義隆氏

右永らく本社の爲盡瘁罷在候處今回左記新任致し候に付此段謹告候也

小林庫二

磐城地方の—樹に關する傳說

磐城民俗研究同志會

4

○七曜松　七夜の松ともいつて原町に在り、北斗七星を象つて植ゑた七本の中の一本である

○檀木松と百代松　中村町小泉にあつたが安政中に枯れた。中村大和守鶴高の古墳かと謂ふ。同じく小泉の高地に百代松あり、名木であつた

○玄正松と妙見松　日立木村赤木に在り、古松二株あつた。慶長元和の頃かといふ、山下玄正といふ高僧が松島雲五といふ者と共に植えたものといふ。妙見松は同村日下石にある

○椚櫟　大野村椎木に奇樹あり、木皮は椚の如くで葉は杉の様であつた。又玉野村西玉野の某家に太郎兵衛といふ僕あり、他より蠶種を取り寄せ養蠶を始めたが桑が無い。桑に似た木が近くにあつたので與へるとよく食べる。他人がやつては蠶は食べない。人呼んで太郎兵衛桑といつた

○形の上などから名づけたものは以上の外、內郷村の傘松、相馬郡太田村の笠松其他非常に多い

（四）民間信仰傳說

○長隆寺の銀杏　大浦村長友長隆寺境內に周圍一丈程の銀杏があるが、昔は本堂よりも枝が高くなれば貧乏するとて時々枝を伐り拂つた

○毒柳　双葉郡川內村字通太作にあり七不思議の一つ。女の姿に見え觸れると大病を患ふとて近よることを恐れる

○怪我を除く松　內郷村三角山への途中、松の大木がある。その枝を折つて根下に置くと怪我をしないそうである

○枝垂松　俗にさがり松と呼んでゐる中村町細田に在る松は、形から甲松、傘松などとも呼んで相馬侯の愛された名木であつた。昔は願ひ事ある者が紙片等を枝に結んではその成就を祈つた

○鬼門除の松　鬼門除の松は各地にあり、植田町台町元淨土宗道教寺の表、國道端にあるのもその一つで館山の梶原美濃寺の植えたものと謂ふ。一名太夫松

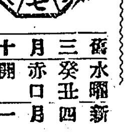
○或る定つた樹でなくても何か祈願ある場合、神社等の生木に釘を打ち込むこと昔はよく行はれ、一例として、數年前或人が病氣になつた時、泉の八幡神社境內の老樹に祈願して五寸釘二十本程をうつて置いた事を擧げよう

一日

（小名濱測候所調査）

日出　五、二五　月出後　〇、五二
日沒　五、五八　月沒前　二、〇八
滿潮前　一、三〇　一〇、三五　干潮前　六、二五　後　六、四〇

舊三月十日　水曜　癸丑　赤口　開　畢宿　新四月一日



諸判定處番　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　緊張して事に當れば安全手違ひを生じ易し▲二黑　些事と雖も油斷すな災を起すべし辯口注意▲三碧　見込み違ひを生じ收支償はず損失を見る日▲四綠　口舌の伴ひ易き日にて相談事は殊に注意▲五黃　平運なるが如く見へて福利逃れ出でんとす▲六白　運氣盛にして進むに吉なれど盜難の災注意▲七赤　地位も高まり名も揚り福祿備はる大吉日▲八白　急功を欲すれば過ちあり漸進すれば開運す▲九紫　事愉快に發展する大吉日開店名弘起業吉

非常に安く便利な
志滿田饂飩
支那そば製造は
永島製麵所
平町菅の澤

公社債株式現物賣買
照山株式平支店
主任 常盤光威
福島縣平町田町五
振替東京八八一三六番
電話四十六番
電話、金融並ニ仲介

洋裁生徒募集
◇歴史は古く教授は新式◇
◇ミシン洋裁教授の元祖◇
◇創設大正五年三月◇
◇入學案內無代進呈す◇
月賦最低＝ミシン貸與
材料無用＝入學隨時
平驛前（役場側）
シンガー洋裁女學院